

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 冬の健康的な生活習慣を身につける。 互いの思いを出し合い、他児と交流を深める。 生活や遊びの中で、見通しを持ち取り組む。 	<p>子どもが熱で欠席する子がいたが、ほとんどの子が元気に過ごすことができた。うがい手洗いが不十分で、適度に済ませてしまう事もあるので引き続き声を掛けたり、やり方について話していく。また椅子の座り方は、その都度ただししい座り方を知らせた。遊びの様子は、一人一人が積極性が見られ、好きな遊びを他児と共有し合っている。また、活動の時間を守るようとする姿も見られた。</p>	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 9日(水)新年子ども会 10、24日(木)英語で遊ぼう 15日(火)お話の会 17日(木)幼児計測 25日(金)避難訓練 お誕生日会
養護 ○生命・情緒／教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<p>【養護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の健康状態を把握し、感染症の予防に努める。 子ども一人一人が意欲的に生活できるようにする。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬の生活の仕方について考えながら、自分でできることは進んでやる。 戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 自分たちで決めたルールを守ったり、役割を持ったりしながら他児と協力し活動する。 異年齢児との関わりを楽しむ。 初詣や地域の方と触れ合う中で、自分の身の回りの環境や社会に興味や関心を持つ。 正月の遊びや、伝承遊びに興味を持ち他児と一緒に遊ぶことを楽しむ。 霜柱など、冬の自然事象に触れ興味や関心を深める。 新年の挨拶や日常の挨拶を保育者や他児や地域の方とかわし、挨拶することの心地よさを感じる。 郵便屋ごっこやカルタを楽しむ中、文字に親しみ興味関心を深める。 様々な素材を使い、制作を楽しみ自分なりに工夫して書いたりする。 自分の思いを言葉で伝える。 正月に体験したことをイメージを持って、ごっこ遊びなど表現して楽しむ。 	<p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 室温、湿度に留意し、換気を行いながら快適な室内環境を保つようにする。 子どもや保護者と十分に話せる時間や空間を確保する。 見通しが持てるように、カレンダーやクラスのお知らせボードに予定を記す。 子ども一人一人が、自分の思いを十分に言える場を設ける。 <p>保育者の援助及び配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 丁寧な手洗い、うがいの仕方、鼻のかみ方、咳やくしゃみのマナーについて子どもと話し合う場を設ける。 遊びが十分に楽しめるように時間、場を確保する。 ルールのある遊びや集団活動を多く取り入れる。 乳児の職員と事前に話す時間を設け、互いのクラスの活動時間を考慮し無理なく進める。 興味や関心が持てるように神社に行く意味、どんど焼きの内容を調べておく。 いろいろな遊びがある事を知らせ、玩具を用意する。 園庭遊び、散歩など冬の自然事象に触れる機会を持つ。また、関連する図鑑や絵本を用意する。 神社など散歩に出て、地域の方と触れる機会を持つ。 必要な玩具や素材を用意する。 自分の思いが十分に言えるような時間、保育者の配置など環境を整える。 様々な素材を用意する。 子どもの要望に応じ素材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携を取り合いながら、子ども達の健康管理に努めていく。 視診、触診を行い、異変が見られたら看護師や保育者間で連携を取っていく。 休みの日の出来事を聞き一人一人の様子を把握し、様子に応じ保育者が関わり安心できるように援助する。 場面や集まりの時間に、子ども一人一人の良い所を話し、自信や自己発揮へ繋げていく。 冬の生活の仕方を知らせる中、自分で気付いてしようとする気持ちが育つように、少しでもやろうとする姿を見逃さず保育者が声に出して誉めていく。 子ども同士で遊びを進めている時は、保育者は様子を見守り必要に応じ援助していく。 異年齢の関わり方は、保育者が積極的に関わり手本を示したり、事前に関わり方を伝えていく。その中で、いたわる気持ちや年上の意識へ繋げていく。 どんど焼きの見学の前後に、繋がりを持った活動や遊びを取り入れ、身の回りの風習に触れ社会への興味や関心が持てるように援助する。 保育者が遊び方を伝えたり、一緒に遊び楽しさを共有していく。 氷や霜柱を子どもたちが日常の中で発見することを見逃さず、去年の氷づくりを話し再度楽しめるように工夫していく。 日本の文化、習わしを分かりやすく伝え、保育者が率先し挨拶をし手本を示していく。 子ども同士のやりとりを見守り、必要に応じ言葉で援助したり素材を用意し、やりとりや文字の関心へ繋がるように援助する。 子ども同士の言葉のやりとりを見守る中、場に応じて保育者の援助の仕方を工夫し、伝わりやすい言い方などしらせたり言葉を補っていく。 意欲的に取り組む姿を認め、工夫しているところを見つけ、誉めていき自信へ繋げていく。 クラス全体の制作では、グループ内で協力し合えるように保育者があまり介入しないように配慮する。 子どもたちの遊ぶ様子を見守ったり、やりたい思いを受け止め遊びが発展するように言葉を補ったり思いを聞いたりする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーを守り、楽しく食べる。 自分たちで作ることで食への興味を広げていく。 季節の食文化を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> マナーを分かりやすく、図で表示する。 クッキングに必要な材料を用意する。 七草がゆの種類を表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気や考慮しつつ、座り方やマナーについて様子に応じ声を掛けていく。 グループで協力し合えるよう援助したり、自分で作った満足感を共感していく。 生活の中で季節の食文化に触れ、食への関心へ繋げていく。
安全	<ul style="list-style-type: none"> 散歩先で、地域の人に挨拶を先で行う。 避難訓練に参加し、自ら安全に気を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外で遊ぶときは事前に危険な場所がないように点検する。 ヘルメットの用意、避難口の確保や職員同士で連携を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は、保育者が率先し行い手本を見せていく。その中で意識へと繋げ進んで行く姿を十分に誉めていく。 戸外で遊ぶ前は、決まりを子どもたちに話し必要性を分かりやすく伝える。 避難訓練の意味、約束を子どもたちと確認する場を設け、安全への意識へ繋げていく。
家庭・地域・小学校との連携		月の反省	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 年末年始の休みの子ども様子を聞いたり、保育園の様子も伝え連携を取る。 感染症がはやりやすい時期になるので、子どもの体調を伝え合ったり、感染情報や予防対策を伝えていく。 			